

第12回 市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	子ども家庭部
テーマ	国立市子ども基本条例制定後の子どもたちの環境の在り方について
日時	令和5年7月8日（土） 午前10時～午前11時15分
場所	くにたち未来共創拠点 矢川プラス
出席者	永見市長、松葉子ども家庭部長、畠山児童青少年課長、川島保育幼児教育推進課長、前田子育て支援課長、豊田児童・青少年係長
参加者数	13名
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立市が子ども基本条例を作っていることを初めて知った。もっとみんなが知ることができるように周知をするといいいのではないか。 ・ 子どもへの虐待が国立でもあることに驚いた ・ 声を上げることのできない子どももいるので、もっと子どもの声を聞いてほしい ・ 子どもの声が反映されづらい社会、「子ども議会」があるといいいのではないか ・ 子どもの声を聞いて終わりではなく、「しっかり反映させることが大切」という市長の声嬉しかった。 ・ 市長とお話できるこういった場に、子どもでも参加できることが嬉しい。 ・ 子どものヒアリングでの声を聞いて、自分もできているのかとドキッとすることがあった。 ・ 意見を言うときには車座になったほうが意見を言いやすい。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配布資料のボリュームが多く、また文字数も多かったため、市長が読み上げる場面が多くなってしまった。 ・ 保育室の確保等の配慮があれば、乳幼児を連れた保護者も参加できた可能性がある。



